

計画の位置付け 県民が生涯にわたって健康で豊かな生活を送ることができるよう、「食育」を着実に推進していくための行動計画
(食育基本法、富山県食育推進会議条例に基づく計画)

これまでの経過	H17.6 食育基本法制定 H17.10 富山県食育推進会議 設置 H18~H22 富山県食育推進計画 (第1期)
---------	-----------------------------------------------------------------

新・総合計画政策目標 (策定中)
安心7：食の安全の確保、食育の推進
・富山の食に着目した食育の推進
・県民ぐるみの地産地消
・食品の安全性の確保

現行 第2期計画 (H24~H28) の成果と課題
※ 評価 ☆：目標達成 ◎：60%超達成 ○：60%以下達成 △：策定時から改善せず

- I 富山の「食」に着目した富山型食生活の推進
- 富山型食生活の普及など県民運動の展開
 - 地産地消の推進
 - 魅力ある食文化の継承・創造

- 食育に関心のある県民の割合は9割を超えるものの微減
- カロリーやバランスを考えた食事を実践する県民の割合は大幅に増加、目標達成まではあと一歩
- 直売所・インショップの販売額は着実に増加

おもな目標指標	②策定時	現状値	②目標値	評価
「食育」に関心がある県民	94%	②91.2%	95%以上	△
カロリーやバランスを考えた食事をする県民	31.2%	②54.6%	60%以上	◎
直売所・インショップ販売額	20.8 億円	②36.1 億円	25 億円	☆

- II 家族そろった楽しい食事で健全な食生活の実現
- 家族そろった健全な食生活の実現
食べ残しなど「ムダ」のない食生活の推進
 - 保育所・幼稚園・学校等における食育の推進

- 朝食を欠食する県民の割合は、30歳代では改善したが、20歳代は後退、小5・中2では改善していないものの低い割合を維持
- 家族で食事する県民の割合は、ほぼ横ばいで推移

おもな目標指標 () は速報値	②策定時	現状値	②目標値	評価	
朝食を欠食する割合	小5	0.8%	②0.8%	0%	△
	中2	1.9%	②2.0%	0%	△
	20歳代	5.4%	(②11.4%)	5%以下	△
	30歳代	5.2%	(②3.8%)	5%以下	☆
家族で朝食または夕食をとる県民	89.8%	②91.8%	95%以上	○	

- III 家庭を中心とした食育を地域社会でもしっかりと支援
- 地域で支えあう食育の推進
若い世代から高齢者までライフステージに応じた食育の推進
 - 食の安全確保

- 食塩の摂取量は減少したが、目標には達せず
- 肥満の男性の割合は減少し、低体重の若い女性の割合は増加
いずれも目標に達せず
- 食品表示が適正な店舗は増加し、目標達成まであと一歩

おもな目標指標 () は速報値	②策定時	現状値	②目標値	評価	
食塩の1日当たり摂取量(成人)	男性	12.2g	(②11.0g)	9.0g未満	○
	女性	10.5g	(②9.1g)	7.5g未満	○
肥満者の割合(20~60歳代男性)	32.6%	(②29.5%)	25%以下	○	
低体重者の割合(20~30歳代女性)	18.4%	(②23.1%)	15%以下	△	
食品表示が適正な店舗	95.2%	②97.8%	100%	○	

食を取り巻く状況の変化

- ・生活習慣病を予防・改善し、健康寿命の延伸を図る必要
死亡率全国順位 (H27)
胃がん : 男3位・女2位
脳血管疾患: 男12位・女17位
- ・G7富山環境大臣会合 (H28) で「富山物質循環フレームワーク」採択
→食品ロス削減等の着実な実施

国の食育推進基本計画 (第3次・H28~H32)

- 重点課題
- ・食文化の継承に向けた食育の推進
 - ・健康寿命の延伸につながる食育の推進
 - ・若い世代を中心とした食育の推進
 - ・多様な暮らしに対応した食育の推進
 - ・食の循環や環境を意識した食育の推進

食育推進会議 委員の主なご意見 (H28.6.21)

- ・子どもの頃から基本的な生活習慣や生活体験が得られる食育を
- ・一人暮らしを控えた高校生の調理体験充実、多忙な核家族への栄養バランスがよく簡単なメニューの提案など、ライフステージに応じた取組みを
- ・食育が実践につながるよう取組みに工夫を
- ・食品ロス削減も県民運動として推進を

食に関する指導者の主なご意見 (H28.2~3実施アンケート結果)

- ・食育推進の課題
 - 健康を意識した食生活
 - 食文化継承
- ・今後推進すべき事項
 - 栄養バランス改善
 - 富山型食生活の普及啓発
- ・重点的に取り組む対象
 - 幼児~高校生の保護者
 - 20~30代、小学生

施策の方向

基本目標 県民が生涯にわたり健康で豊かな生活を送る

重点課題

- ライフステージに応じた食育
- 健康寿命の延伸に向けた食育
- 食の循環や環境を意識した食育
- 子ども・若者世代への取組み
- 食育の実践につながる取組み

施策の体系

I 富山の「食」に着目した食育の推進

- 食育県民運動の展開
 - ・食育推進運動の充実
 - ・食育推進体制の充実
- 地産地消の推進や生産者と消費者の交流
 - ・生産・供給体制の強化
 - ・県産品の活用・購買気運醸成
 - ・生産者等と消費者の交流促進
- 魅力ある食文化の継承・創造
 - ・富山の伝統的な食文化の伝承
 - ・新たな食文化の創造

おもな目標指標案 () は速報値	②策定時
「食育」に関心がある県民	②91.2%
カロリーやバランスを考えた食事をする県民	②54.6%
「富山型食生活」を実践している県民	
ご飯を1日に1回以上	(②93.9%)
野菜を1日に350g(小鉢5皿程度)	(②26.7%)
魚介類を1日に1回	(②68.4%)
地産地消「とやまの旬」応援団登録者数	②4,458

II ライフステージに応じた健康増進につながる食育の推進

- 子どもに対する食育の推進
 - ・望ましい食習慣の形成に向けた普及啓発
 - ・家庭で楽しい食生活の実践と支援
 - ・家庭・地域等と連携した食育の推進
 - ・豊かな農林水産資源を生かした食の体験、給食の推進
- 若者世代に対する食育の推進
 - ・健全な食生活や生活習慣の確立に向けた食育の推進
 - ・健康寿命延伸に向けた食育の推進
 - ・豊かな農林水産資源を生かした食の体験の推進
- 働き盛り世代・高齢者に対する食育の推進
 - ・健康寿命延伸に向けた食育の推進
 - ・地域全体で食育に取り組む体制の充実

おもな目標指標案 () は速報値	②策定時	
朝食を欠食する割合	小5	②0.8%
	中2	②2.0%
	20歳代	(②11.4%)
	30歳代	(②3.8%)
家族で朝食または夕食をとる県民	②91.8%	
脂肪から摂取するエネルギー比率	20歳代	(②28.3%)
	30歳代	(②27.1%)
食塩の1日当たり摂取量(成人)	男性	(②11.0g)
	女性	(②9.1g)
肥満者の割合(20~60歳代男性)	(②29.5%)	
低体重者の割合(20~30歳代女性)	(②23.1%)	

III 食の安全・安心や食の循環を意識した食育の推進

- 食の安全確保の推進
 - ・食に関する情報の理解促進
 - ・安全な農林水産物等の供給
- 食の循環や環境を意識した食育の推進
 - ・食品ロス等の発生を減らす食生活の推進
 - ・自然環境や食べ物を大切にする心の醸成

おもな目標指標案	②策定時
食品表示が適正な店舗	②97.8%
◎食品ロス削減等に係る目標指標(今後決定)	